

ホルモン補充周期における凍結融解胚移植の至適移植時期に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に当院でホルモン補充周期での凍結融解胚移植を受けられた方

2. 研究目的・方法

ホルモン補充周期で凍結融解胚移植を行う至適時期についてはこれまで多くの研究がされていますが、内服や注射で黄体ホルモンの補充を行った症例がほとんどです。現在黄体ホルモン製剤は膣錠が一般的となっています。膣錠は子宮内膜への移行性などが内服や注射とは異なると言われており、膣錠を使用した場合の至適移植時期について検討します。

上記 1. に該当される患者様について、凍結融解胚移植に関わるデータを診療録から抽出して研究を行います。膣錠を開始後、5 日目に移植を行った方と、6 日目に移植を行った方で、患者様の年齢、不妊原因、胚のグレードなどで調整し、妊娠率や生産率について解析をします。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2030 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2025 年 10 月 1 日～

3. 研究に用いる情報の種類

治療時の年齢、不妊原因、使用したホルモン製剤の種類、移植に用いた胚のグレード等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部 産科婦人科学講座

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

電話：088-880-2383 FAX：088-880-2384

研究責任者： 都築たまみ

-----以上